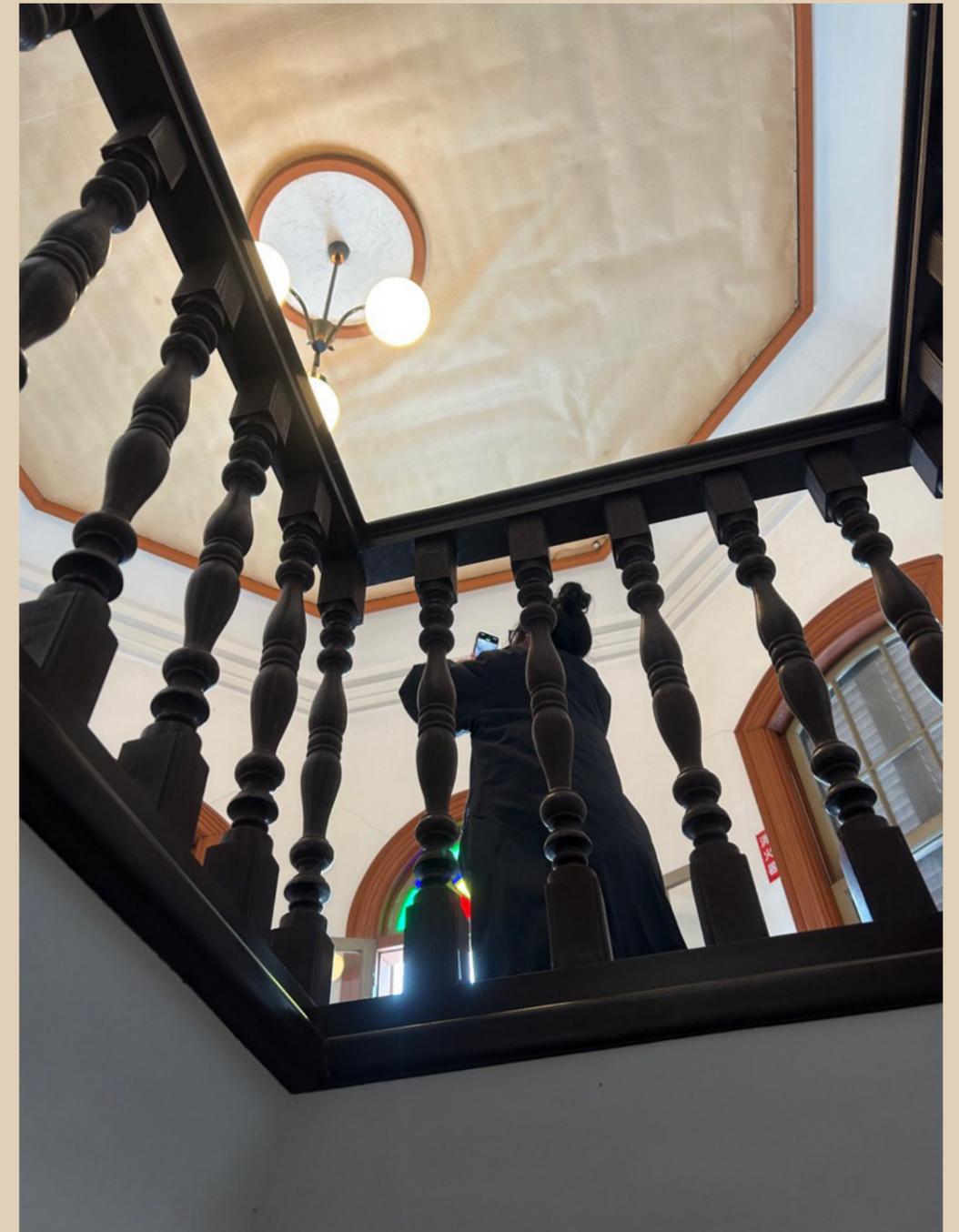


文化財保存活用業務の活動内容

- (1) 郷土館の企画展示及び常設展示の入れ替え、デジタルアーカイブ作成
- (2) 文化財の資料整理
- (3) 市民に対する歴史文化活動の普及活動

そのほか
市郷土館を中心に
活動しています！

収蔵品で
3D スキャン実験中



デジタルアーカイブ中の様子

文化財保存活用業務のメンバー

＼今年1月から着任！／

杉本 聡子 Sugimoto Satoko

所属：文化創造都市課

着任日：令和8年1月1日(1年目)

出身地：神奈川県藤沢市

前住所地：神奈川県藤沢市

前職：アーティスト(美術、料理)、学芸員



山形に来た
きっかけ

全国各地を飛び回りながら、現代美術を軸に活動してきました。仏像や寺社仏閣、土地の歴史をリサーチし、文化をアーカイブすることをテーマに作品制作を行っています。

一方で料理家としても活動しており、在来作物が日本一多いとも言われる山形の食文化に強く惹かれています。食と交流を手がかりにした研究を深めたいという(食いしん坊根性からの)思いから、この山形の地にやってまいりました！

伊藤 なつみ Ito Natsumi

所属：文化創造都市課

着任日：令和6年4月1日(2年目)

出身地：千葉県白井市

前住所地：千葉県白井市

前職：学生



山形に来た きっかけ

幼少期から祖父に連れられてさまざまな文化施設を訪れるうちに、文化施設で働くことを目指していました。大学在学中に、地域おこし協力隊として近代の重要文化財建築を活用した施設である山形市郷土館で活動できることを知り、高校生のころから憧れていた場所である山形で、望んでいた職種の仕事ができる、こんな募集は他にないので感じ応募しました。

郷土館の展示における今年度の変更点

- ・ **看板、常設展示の英訳付きキャプション増加**

インバウンド観光客に向けて展示すべての多言語化を目指します。

- ・ **第8室のキャプション・展示のリニューアル**

キャプションを新しいものに統一し、医療器具の展示を増やしました。

- ・ **本草綱目の展示を月一度目安に変更**

秋季企画展開催中は里芋や葡萄、1月は干支の馬など、

季節や行事にあわせて、本草綱目に収録されている動植物などの

図版が載っているページを開いて展示し、

常設展示においても訪れた際に変化のある展示にしました。

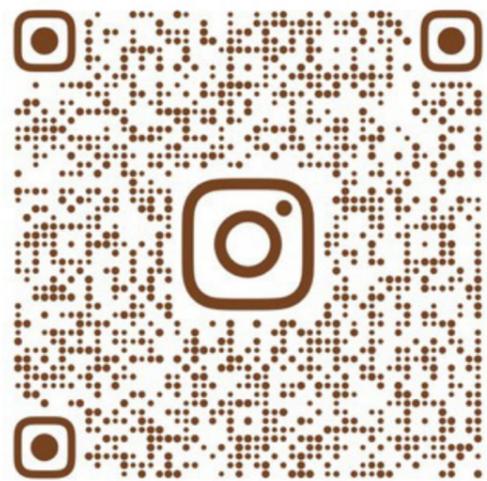
郷土館 SNS 運営

郷土館の展示物や建築、山形市の文化財や歴史について、地域おこし協力隊員が Instagram、Facebook で情報発信しています。

令和7年4月から現在（令和8年2月）までの実績

投稿数 93 件（令和5年7月開設時からの総投稿数 305 件）

instagram フォロワー数 約 400 人増加（総フォロワー数 1022 人）

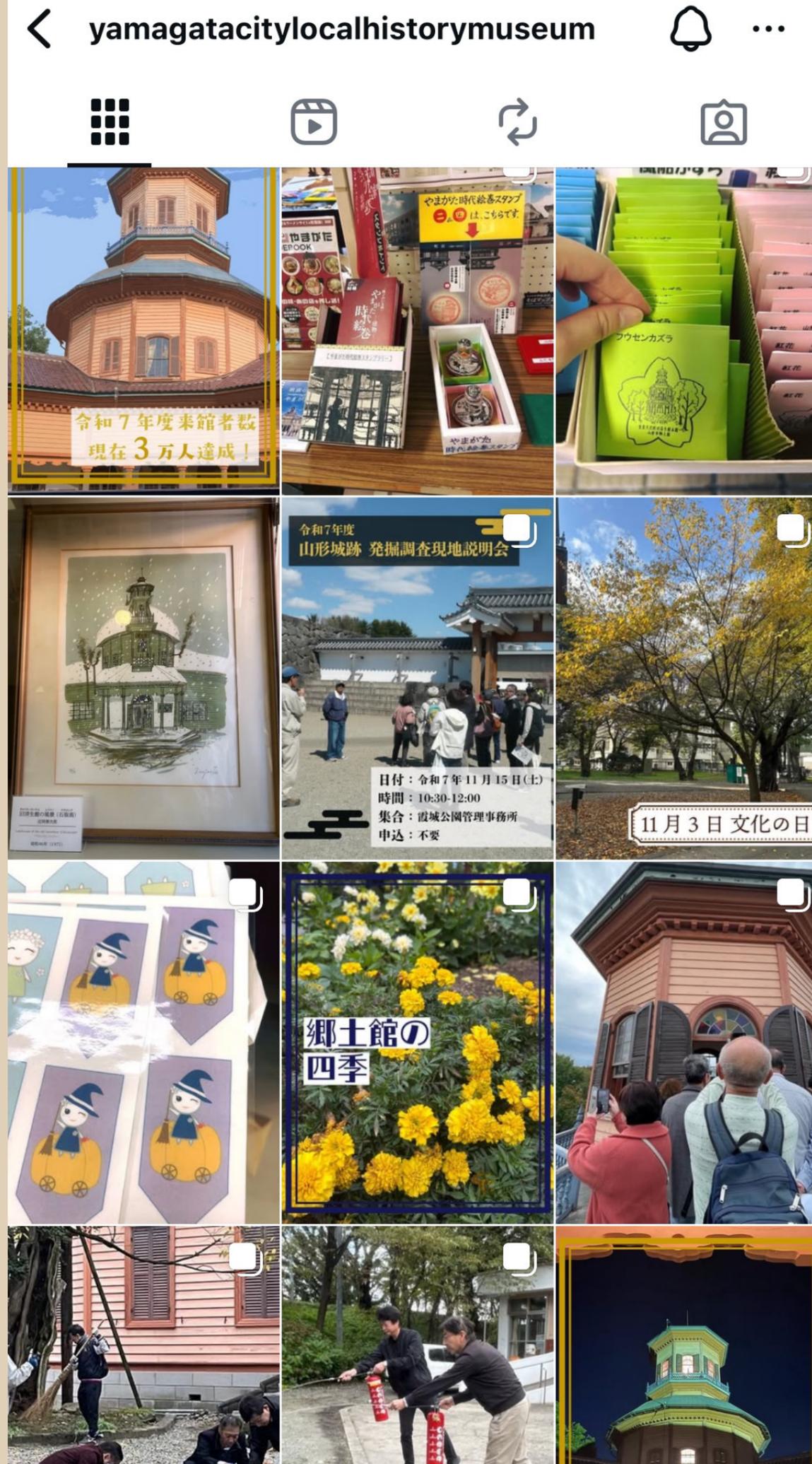


@YAMAGATACITYLOCALHISTORYMUSEUM

Instagram



Facebook



その他の活動（1）

- ・山形県保健医療大学 看護学科 授業「まちづくり看護論」外部講師
（講義「山形市郷土館について、地域おこし協力隊としての活動について」）
- ・「第6回 Satoyama 実践者交流会 Satoyamax×クリエイティブ
～地域文化と国際交流～」スタディツアーでの郷土館解説
- ・江南公民館講座「済生館物語」講師
- ・新聞、テレビ取材、来館者への郷土館解説対応
- ・収蔵資料の保存処理（令和7年度は鎖かたびらの錆び止め）
- ・東京外国語大学 スタディツアー対応
- ・遊学館「県移住定住・地域活力拡大課連携 地域おこし協力隊の活動
状況を紹介するパネル・ポスター展示」での展示

その他の活動 (2)

令和7年度新規事業「やまがた文化財フェスタ」 ポスター・チラシデザイン、市指定文化財と 共に展示する文化財解説パネルの制作



やまがた
秋の芸術祭

山形市歴史文化資産月間

やまがた
文化財フェスタ

多くの歴史的文化資産を持つ山形市。
「やまがた秋の芸術祭」の一環として、
市の文化財を活用したイベントを多数開催します。

9月26日(金)～
11月22日(土)

やまがた文化財フェスタ公式HP

事務局：山形市文化財保存活用協議会 山形市文化スポーツ部 文化創造都市課 文化財係
Tel：023-641-1212(内線：626・627)
Mail：bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp

文化財

山形市 市指定文化財

明治時代にも山寺が庶民信仰の場であったことを示す資料

やまてら りっしやくじ おくのいん おおとうろう

山寺立石寺奥之院 大灯籠

歴史のあゆみ

明治28年(1895)、山形市銅町の^{いもど}鑄物師(鑄物職人)である小野田才助^{おのだ さいすけ}によって造立された、山形の伝統工芸技術「山形鑄物」の大灯籠です。

小野田家は代々鑄物師の家系で、その技術は高く評価されていました。山寺立石寺のほかに、宮城県金華山黄金山神社、香川県金刀比羅宮にも大灯籠を奉納しています。うち、金刀比羅宮の大灯籠については、国の重要有形民俗文化財に指定されています。

大灯籠は、多くの祖先の霊が集まる目印であり、先祖に捧げる照明です。明治時代に入っても、山寺立石寺が庶民信仰の地であったことを示す貴重な資料として、山形市の有形民俗文化財に指定されました。

ここが特徴！



基底の銘文によると、立石寺住職の^{みぶ ゆうでん}壬生優田が発願主となり、^{たっちゅう}塔頭寺院である中性院、性相院、金乗院が事務総代を務めて造立への基金が集められたこと、また寄付人は、当時の山寺村や山形市のほか、北は最上郡豊里村(鮭川村)、南は東置賜郡赤湯村(南陽市)、西置賜郡十王村(白鷹町)

まで、広範囲に及んでいることがわかりました。山寺が山形の広い範囲の人々にとって、信仰の場であったことを示す資料です。

ここが見どころ！

七層構造で、細かな形態にも関わらず非常に肉薄で、高い技術で鑄造されています。明治時代には溶接技術がなかったため、層同士を溶接でつなぐのではなく、凸凹を組み合わせる構造になっています。最上義光公が、鍛冶町、銅町を置いて鑄物職人を手厚く育て、現代に至るまで連綿とその技術が受け継がれています。

山形市郷土館 来館者数実績

- 令和6年度、過去最高の来館者数を達成（42,653人）
- 外国籍来館者数 令和6年度 3,044人 令和7年度2月現在 2,467人

R5 (2025)

山形市地域おこし協力隊
(文化財存活用業務)が導入される

R1 (2019)

令和元年、「日曜美術館」に特集される。
開館以来始めて来館者数 年間4万人を突破

	7年度	昨年比	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
4月	6,871	0.99	6,923	5,568	4,173	1,986	7	7,774	5,630	5,137	4,120	4,403	4,977	4,432	4,878	3,695
5月	4,021	1.00	4,033	3,466	3,300	1,591	152	4,938	2,795	3,433	2,836	3,050	3,410	3,131	3,166	2,805
6月	2,817	0.82	3,448	2,550	2,029	1,358	692	3,526	2,180	2,265	2,270	1,699	2,475	2,008	2,120	1,630
7月	2,259	0.80	2,817	2,345	2,026	1,624	1,237	3,092	1,803	1,957	2,039	1,810	2,145	1,556	2,097	1,837
8月	3,508	1.00	3,521	3,427	2,728	1,641	1,352	4,192	3,043	3,032	2,822	2,465	3,406	2,774	3,036	3,001
9月	3,437	1.05	3,261	3,182	2,703	1,674	2,082	3,486	2,775	2,833	2,738	2,755	3,377	2,184	2,321	2,334
10月	5,061	0.98	5,153	4,162	3,703	2,478	2,800	3,929	3,192	2,394	2,660	2,095	2,594	2,041	2,682	2,949
11月	4,541	1.00	4,530	4,397	3,864	3,365	3,679	3,626	3,632	2,860	2,747	2,939	2,472	2,175	2,249	2,065
12月	1,931	1.23	1,568	2,026	1,423	1,279	1,139	1,525	1,909	763	1,025	901	543	583	683	496
1月	1,592	1.01	1,578	1,718	972	784	370	1,602	1,034	985	721	655	602	701	515	519
2月		0.00	2,342	3,137	1,787	1,116	846	1,918	1,902	1,117	965	1,192	847	637	671	511
3月		0.00	3,479	3,649	3,494	1,658	1,526	2,068	2,391	2,204	1,568	1,794	1,572	1,081	1,269	1,097
計	36,038		42,653	39,627	32,202	20,554	15,882	41,676	32,286	28,980	26,511	25,758	28,420	23,303	25,687	22,939
			36,832	32,841	26,921	17,780	13,510	37,690	27,993	25,659	23,978	22,772	26,001	21,585	23,747	21,331
昨年度同時期			0.98	1.10	1.34	2.03	2.67	0.96	1.29	1.40	1.50	1.58	1.39	1.67	1.52	1.69

R6 (2026)

来館者数過去最高を記録

R2 (2020)

コロナ禍が始まる。
来館者数が大きく減少

今年度を振り返って（伊藤）

今年度は、これまで手をつけられなかった常設展示、特に1階5・6室の展示替えを更新しました。明治期を中心とした東洋医学・西洋医学の歴史の流れを整理し、それぞれの部屋を分けて紹介したいと考えたためです。山形市郷土館には、漢方医が使用していた「薬研」などの道具や漢方薬そのものも多く収蔵されています。既存の資料を漫然と並べるよりも、当時の時代背景を解説としてしっかりとほさみつつ、ジャンルを分けた展示を行う方が魅力的になるだろうと考えました。歴史を調べていると、日本の医学がアジア諸国の知見をはじめ、オランダ医学、イギリス医学、ドイツ医学など、さまざまな国から影響を受けながら発展してきたことがよくわかります。

明治時代の日本人が開国に伴い国外の学問を学び、医学書を日本語に訳して読解しようと懸命に取り組んでいた姿を、展示を通して感じ取っていただければと思います。

近年増加傾向にある外国からの来館者の皆さまにも、私たちが作った展示を通じて、明治期から続く日本との歴史のつながりを感じ取っていただければ幸いです。



山形市郷土館とは？

- ・国指定重要文化財「旧済生館本館」を活用した市営文化施設

旧済生館本館は、明治11年9月に竣工した擬洋風の病院建築物です。

昭和41年12月5日に国の重要文化財に指定され、それに伴い霞城公園内に移築復原の運びとなりました。昭和44年に移築復原工事が完了し、管理棟を付設のうえ昭和46年に「山形市郷土館」として新たに出発しました。



展示物について

・郷土館の収蔵方針について

郷土館では、「山形市の郷土資料」、「旧済生館本館の建築資料」、「医療器具」の3つを収蔵方針として挙げています。

・郷土館「3つの宝」

郷土館では、収蔵品の中でも特に貴重な「本草綱目・解体新書」、「三条実美の扁額」、「ヒポクラテス肖像画」を「3つの宝」としてご紹介しています。市内の方からご寄贈いただいたものと、郷土館ですずっと引き継がれていたものが選ばれました。

開催イベントについて

R5 年度以降、郷土館の開催イベント数が増加しています。

- ・ 年 4 回開催 郷土館ナイトミュージアム
- ・ 年 4 回開催 旧済生館本館 3・4 階特別公開
- ・ 冬のスノーキャンドル
- ・ 毎企画展ごとに開催するギャラリートーク
- ・ (R7 年度) 黒木あるじ氏による 冬の怪談会

事前予約制のイベントもあります。

情報は市公式 HP、郷土館 SNS をチェック！



来年度の目標

山形の文化財を、

もっと身近に。もっと楽しく。

🌟文化財をデジタルで未来へ

音源・資料のデジタル化、3D アーカイブ

🌟展示室をアップデート

常設展示を、見て楽しい・伝わる展示へ

🌟アートで出会い直す文化財・新旧のコラボ！

若手アーティストとのイベント・企画展

🌟参加できる文化財体験

ワークショップの実施

🌟入れない場所も体験できる

VR で見る 済生館 3・4 階

🌟知るほど好きになる文化財

人や物語に

注目した 深掘り紹介

🌟山形の魅力を外へ発信

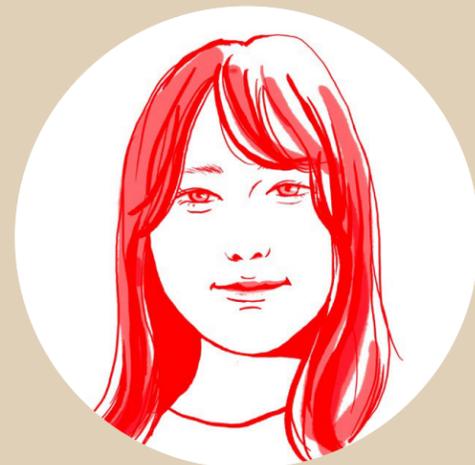
SNS などでも市内外へ

文化財は、
過去のものじゃない。
未来につながる、
まちの宝物。

文化財保存活用業務の

メンバーより一言

伊藤なつみ 隊員



地域おこし協力隊として最後の年である次年度、やり残したことがないように力を尽くして頑張ります！



杉本聡子 隊員

魅力あふれる文化財がたくさんあるまち。そんな文化財を、次世代に継承していけるような事業を展開してきたいです！
よろしくお願ひします！